
第 30 報 2019 年 6 月 17 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格および供給情報について、2019年6月14日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の5月の出荷量は6万2,444m³と前年同月比5%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。熊本駅前の再開発等大型民需も控えており、今後も需要は堅調に推移する見通し。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物 21-18-20 でm³当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。熊本地区生コン協組では、原材料および、輸送コストの高騰を背景に、4月1日契約分より、昨年度、未浸透であった1,000円の値上げを改めて表明し、需要者側と交渉を行っている。目先、横ばいで推移する見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の5月の出荷量は1万7,618m³と前年同月比8.7%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。大型物件向けの出荷は一服感が出ており対前年割れの状況が続く見通し。ただ、震災復興関連工事向け需要は依然として続いており、今後も例年以上の出荷は見込まれている。

価格は、建築標準物 21-18-20 でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

【再生クラッシュラン】

（熊本地区・阿蘇地区）

価格は再生クラッシュラン 40~0mm が熊本地区でm³当たり2,000円、阿蘇地区でm³当たり3,200円どころを横ばいで推移している。

熊本地区では震災復興関連工事に伴う路盤材需要は増加傾向にあるが、益城、御船等の一部の地区に限定されており、需給のひっ迫感はみられない。販売側も現行価格の維持に注力しており、先行き、横ばいで推移する見通し。

阿蘇地区においては、震災復興に伴う道路工事向けの出荷が旺盛。地区内でのガラ不足が慢性化するなか、数量が多い現場では遠方からの持ち込みもみられ、需給はややひっ迫している。そのような状況下、販売側は設備更新費や輸送コストの一段高等を背景に値上げを打ち出し、売り腰を強めている。先行き、強含みで推移する見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の4月の製造数量は5万567tと前年同月比約15.2%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。大型物件に乏しく、熊本市中心部の需要は精彩を欠いており、対前年割れの状況が続いている。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり11,000円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。供給側は従前からの製造コスト・運搬コストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、中心部の需要は盛り上がりやを欠いており、需要者側の購買姿勢は依然厳しく、現行価格の維持が精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【2019年6月14日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [324]	熊本	2018年 5月号	200円下落	t	11,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【2019年6月14日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格はSD295A・D16で前月比t当たり2,000円下落し、7万1,000円どころ。原料である鉄屑相場の続落を背景に、販売側の価格競争が強まり価格は下落した。足元、市場には先安観が広がり、需要者側は当用買いの構えを徹底している。需給に引き締まりを欠く中、製品市況に好転する材料は見当たらず、当面、弱含み。	やや緩和	やや緩和	弱含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,390円と前月比横ばい。これまで産地側による製品の高値感を反映する格好で、流通筋も仕入れコスト上昇分を転嫁するべく売り腰を強めていたが、現状、荷動きに一服感がみられ、需要家の購買姿勢は厳しさを増している。今後も需要回復の見込みが薄く、目先、弱含みで推移。	やや緩和	やや緩和	弱含み
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 ・鋼製覆工板・敷鉄板 [284～290]	熊本	年度末の需要期を過ぎたものの、仮設鋼材賃貸の稼働率は依然として高い水準にあり、需給はこの先もタイトな状況が続くとみられる。 賃貸業者は値上げの意向を示しているが、需要者からの指値は厳しく、値上げ浸透には時間を要する見通し。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

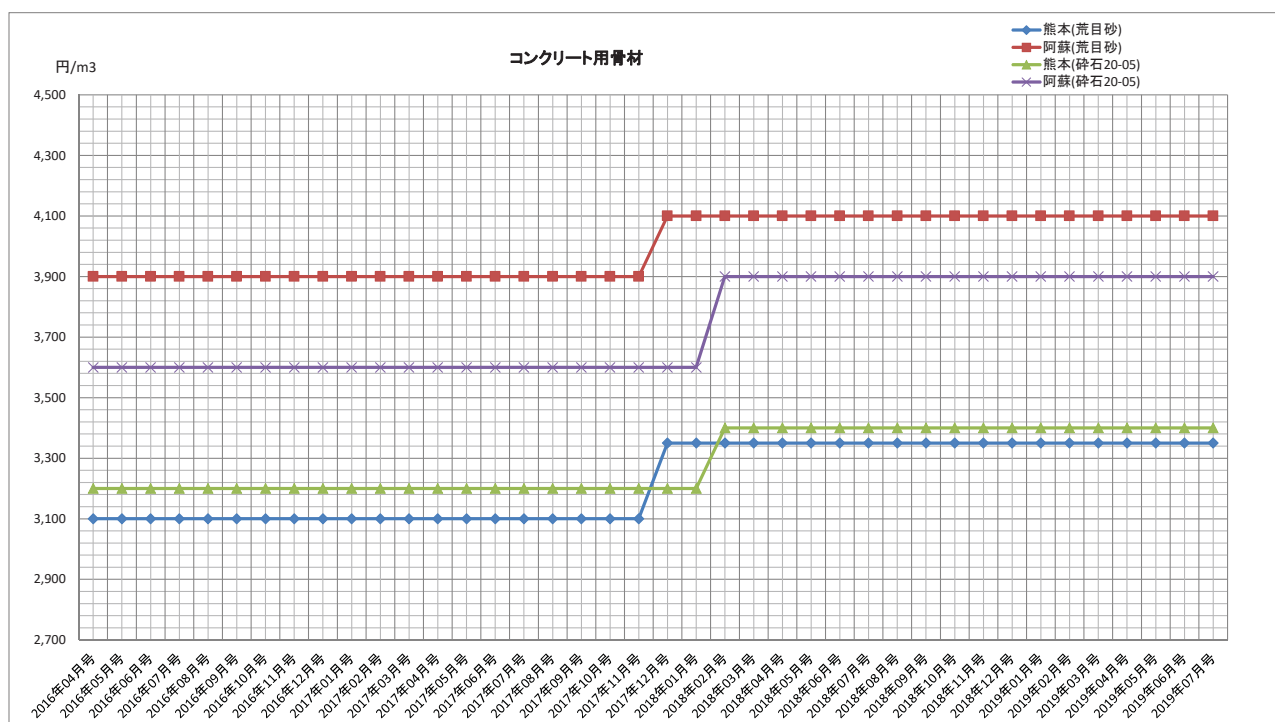
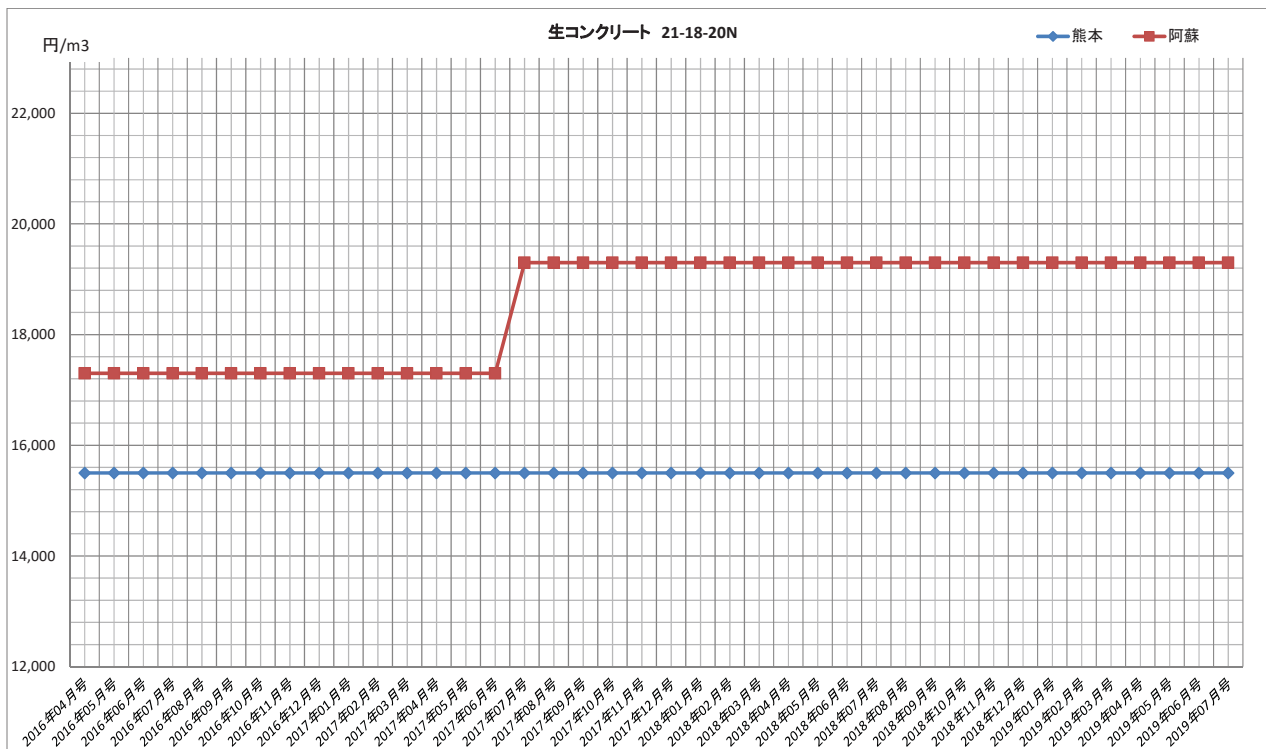
【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

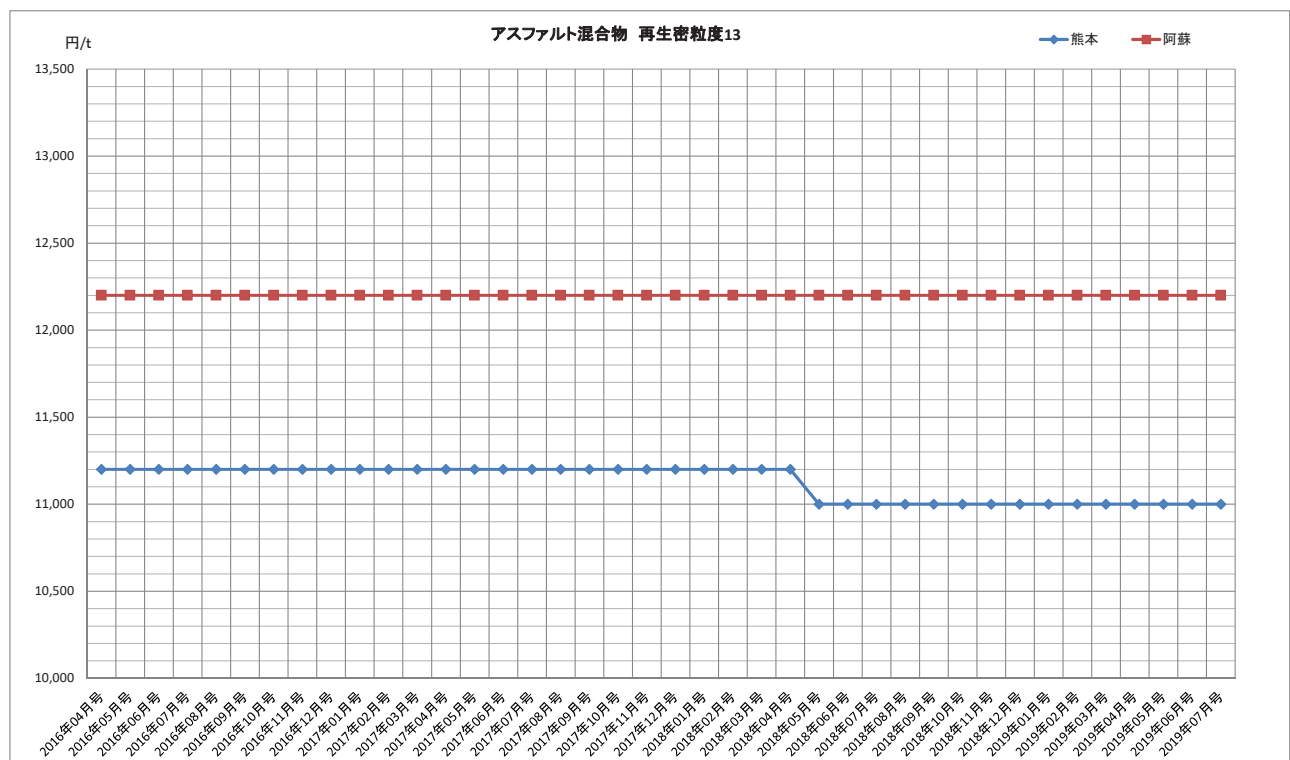
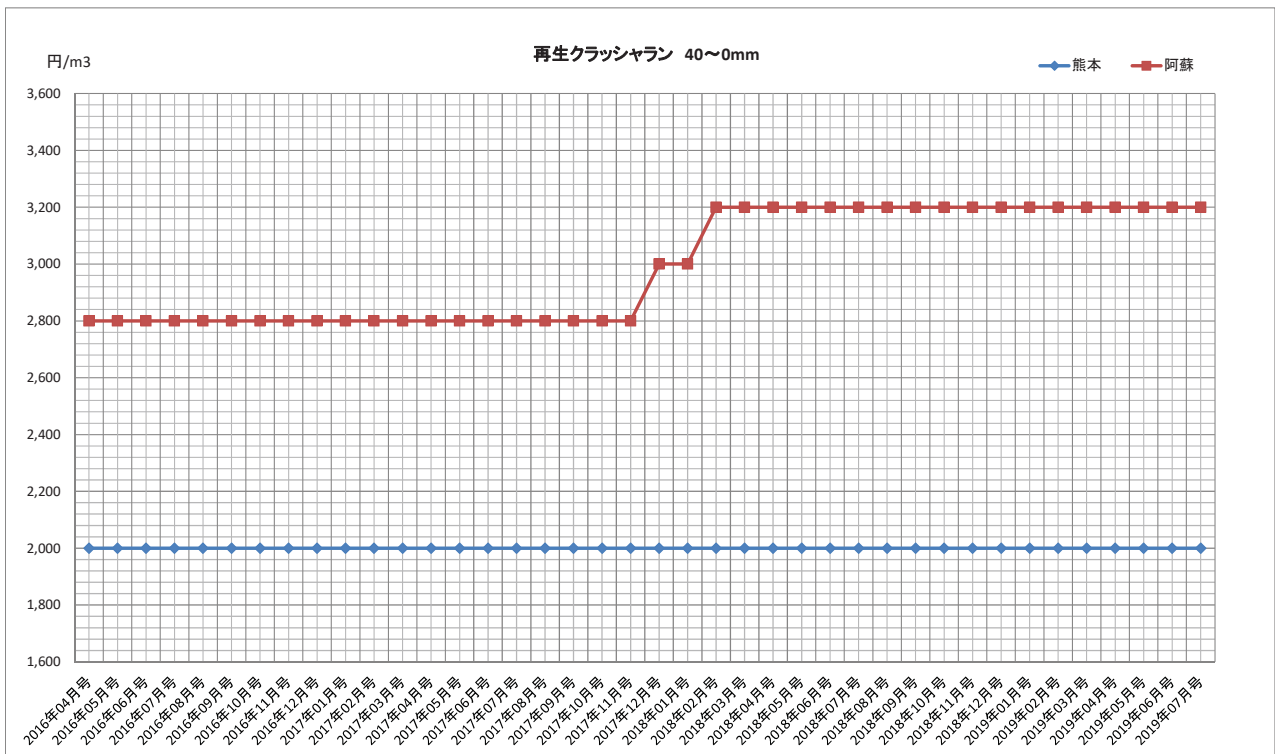
【2019年6月14日 現在】

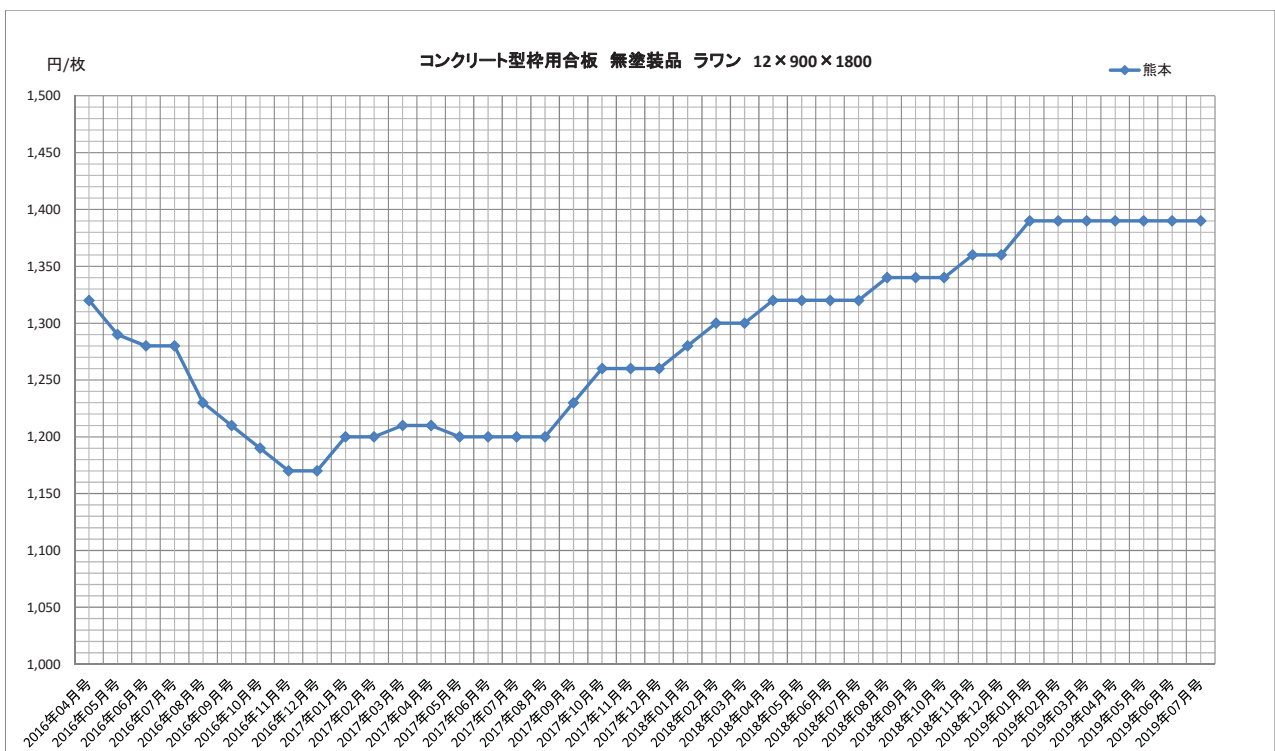
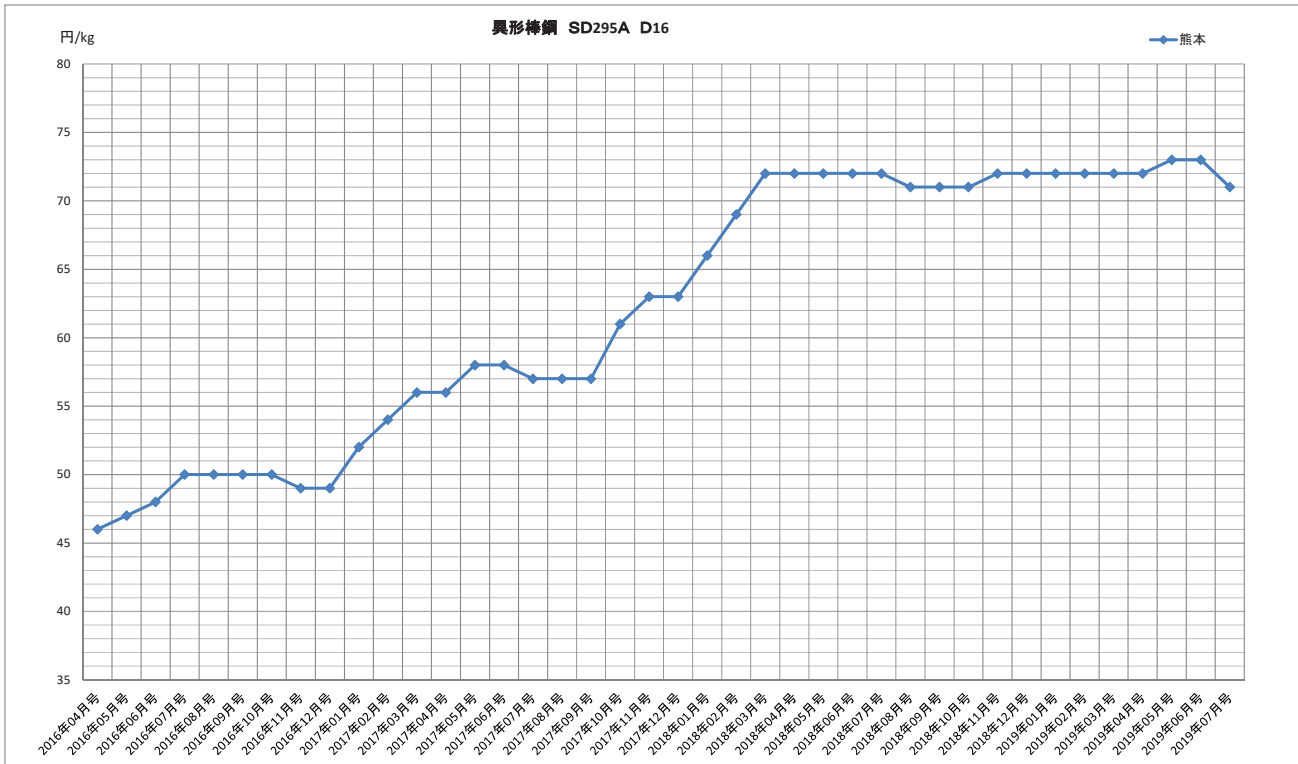
資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~9]	熊本	価格は一般構造物でt当たり60,000円と前季比1,000円の上伸。工事量は震災復興向けを中心に多く、依然として需給のひっ迫は続いている。専門工事業者側は稼働率の高さが続いている状況を背景に値上げを要請、需要家も工期を優先して受け入れた。今後も需要の堅調は続くと思われるが、当面は横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	ややひっ迫	横ばい
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) 建築施工単価 [市場単価10~13]	熊本	価格は、高止まりが続き、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり56,000円どころと前回調査比横ばい。建て替え需要など市内中小物件を中心に堅調に推移しており、専門工事業者は高稼働率を維持。今後、熊本駅周辺工事の躯体工事が始まるに連れ、再び需給が引き締まるまでは、横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) 建築施工単価 [市場単価20~23]	熊本	価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5~4.0mでm2当たり5,000円どころと前回調査比横ばい。市内商業施設向けや中小物件等の需要により堅調に推移。大型再開発の躯体工事が完了したことで、需給にやや緩みがみられる。今後、熊本駅前再開発工事が始まるまで、価格交渉は綱引き状態で継続する見込み。目先、横ばい推移する模様。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】







【工事市場単価の価格推移】

